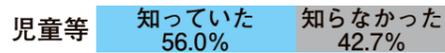


「35人学級の成果と課題についてのアンケート」結果概要

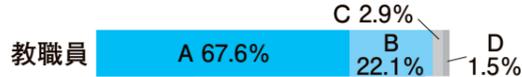
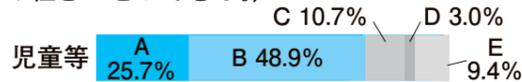
● 鳩山町では、35人学級が制度化されていることを知っていましたか。



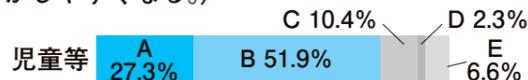
● 35人学級制度は学習指導や生活指導において**規律の定着**が図れ、大変有効である。



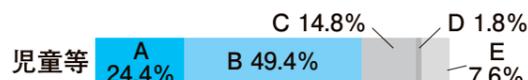
● 35人学級は、児童・生徒の**学力向上**に効果があると思いますか。(児童生徒の学習状況の把握が適切にでき、学力に応じた丁寧な指導ができ、学力の底上げや多様な学習(発展学習等)に取り組むことができる。)



● 35人学級は、児童生徒の**生活指導の充実**に効果があると思いますか。(児童生徒への言葉かけや児童生徒から話を聞く機会が増え、教師と児童生徒の相互理解が深まり、学習指導や生徒指導がしやすくなる。)



● 35人学級は、教師と子どもの相互理解が深まり、授業での発表や質問の機会が増え、子どもたちが意欲的に取り組む、**活発な授業**が行われると思いますか。(全員参加型の学び合う授業(表現活動や体験的な活動等)が展開しやすく、活発な授業を通して、児童生徒の学習意欲が高まる。)



【回答結果の見方】

「児童等」は、小学校5・6年生とその保護者、中学生とその保護者。回答種別は、A:とてもそう思う B:そう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない E:わからない。記載のない場合は0%。「無回答」を記載していないため、各設問の合計値は100%となりません。()内は教職員向けの設問内容。

アンケート概要

●対象者及び対象人数

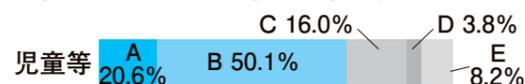
町内の教職員(68人)、町内の小学校5・6年生およびその保護者(201人)、町内の中学生およびその保護者(325人)

※小中学生については、保護者と相談した上で回答することとなっています。

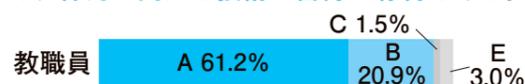
●調査期間 平成27年7月

●有効回収率 教職員100%、児童生徒およびその保護者74.7%

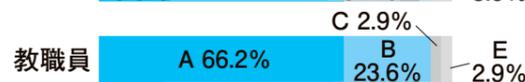
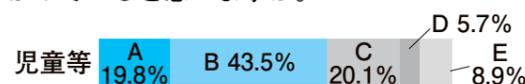
● 35人学級は、教員が学級の子ども**一人ひとり**の気持ちや努力、学力を**正確に把握**し、指導に生かすことができますか。



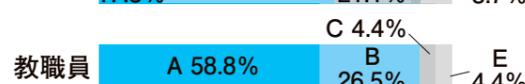
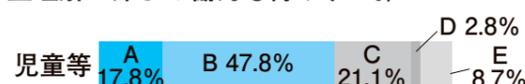
● 35人学級は、体育や音楽などの実技教科において、児童生徒一人あたりの取組時間が増えるので、**体力の向上や技術の習得に有利**である。



● 35人学級は、教師と子ども、子ども同士の人間関係が深まり、校内での様々な**問題(いじめ等)の早期発見、早期解決**や問題行動の減少につながっていると思いますか。



● 35人学級は、懇談や相談に時間的に余裕ができるため、担任と保護者、保護者同士の連携が密になり、**相互理解が深まり**、子どもによい影響が出ると思いますか。(「保護者・家庭」との相互理解が深まり協力も得やすい。)



“35人学級”を考える

～「35人学級の成果と課題についてのアンケート」結果概要の公表～

町では、児童・生徒の学校における学習や生活の環境改善を目的に、「35人学級制度」を平成22年度から中学校で、平成26年度から小学校に導入しています。

町教育委員会では、35人学級の成果と課題について検証し、さらなる教育の充実につなげるためにアンケートを実施しました。今月号では、町の35人学級の取り組みとともに、アンケート結果の概要をご紹介します。なお、アンケート結果は町ホームページでもご覧いただけます。

■問合せ 町教育委員会 教育総務課 ☎ 296-1227



授業を受ける子どもたち(鳩山小学校)

きめ細やかな指導、児童生徒と向き合う時間の確保へ

課題の複雑・多様化 求められる質の高さ

最近の学校では、障がいのある子どもや外国人の子どもなど、特別な支援を必要とする子どもたちも増加しています。さらに、小学校は平成23年度から、中学校は平成24年度から、授業時数や指導内容が増加する新学習要領が実施されています。

学校が抱えるこうした課題に適切に対応して、子どもたち一人ひとりに質の高い教育を行えるようにするため、少人数学級の実現が強く求められてきました。

35人学級を制度化し、その成果と課題を検証

町では、平成22年度から中学校に35人学級を制度として取り入れ、平成26年度からは小学校にも導入しています。35人学級を制度として取り入れている自治体は大変少なく、

35人学級のメリットとデメリット

【メリット】

- ・理解度や興味に応じた**きめ細やかな指導が可能**。
- ・発言や発表機会が増え、**授業参加がより積極化**。
- ・**教室にゆとり**が生じ、様々な教育活動が可能。
- ・教員と児童生徒間の**関係が緊密化**。
- ・**生徒指導上の課題**に即した**個別指導の充実**。

【デメリット】

- ・**友達関係が固定化**し、競争意識が薄れる。
- ・**財政面の負担**(教職員等の人件費)が多くなる。

先進的な取り組みと評価されています。

中学校に35人学級を導入してから5年が経過したことから、「35人学級制度」の成果と課題を検証するため、町では教職員や児童生徒およびその保護者を対象に、7月にアンケートを実施しました。

左ページのアンケート結果の概要のとおり、35人学級を肯定的に捉えている意見が多く見受けられました。

学習や学校生活において、学級の人数が少ない方が快適な場合もあれば、人数が多い方が充実する場合もあります。人数が少ないと、友達関係が固定化し競争意識が薄れるとの意見もあれば、人数が多いと「いじめ」などが発生しやすく勉強どころではないとの意見もあります。

アンケートでの自由意見でも様々なご意見をいただきました。町では、今後もそうした声を踏まえ、教育環境の更なる改善に努めていきます。

35人学級の特徴や意見を踏まえ改善へ